

特集

# ロシア、北朝鮮など国 7月参院選で浮

## 岸田政権 国政選挙を占う

# 際情勢は混沌! かぶ人沈む人



▲参院選北海道選挙区立候補予定者(実際の掲示板とは異なります)



▲岸田文雄首相



▲公明党代表・山口 那津男氏

めるのは32ある「1人区」といっていい。それを踏まえて、獲得議席を予想してみる。

まず、改選議席54の自民党。早くから調整を進めてき

たこともあって、資金集めのパーティーも頻りに開いて準備は最終段階に入っている。

唯一、候補が決まっていない1人区は山形は擁立を見送って、6年前、自民党候補に10万票以上の大差をつけた国民民主党の舟山康江を側面支援する。

執行部はそんなシナリオを描く。これで負けを少なくする一方、

与党に擦り寄る国民民主をさらに囲い込み、あわよくばバックにいる連合も分断するとの狙いだ。しかし不戦敗には党内に反対論も根強く、最後までもつれる可能性もある。

比例は岸田政権の支持率が50%を超えて堅調だから、そこそこ取って来るだろう。つまり、改選前議席前後の獲得が計算できる。

改選議席14の公明党も底堅い。東京、埼玉、神奈川、大阪、兵庫、愛知、福岡の7複数区に候補を立てるが、維新が勢力を広げる兵庫以外は安全圏。比例でも地力から6〜7議席は取るだろうから、獲得議席は12〜14か。このままだと、自公で過半数が取れる流れだ。

### 焦点は32の「1人区」

参院選の改選数は125。定数はほぼ都道府県単位の選挙区が74、全国比例は50。定数2以上の複数区は与野党

で分け合うケースが多く、比例も1党が圧倒的に議席を占める状況にはない。

このため、勝負を決

岸田文雄政権の行方を左右する参院選は6月22日公示、7月10日投票の日程で行われる見通しだ。自民党は選挙区での候補がほぼ揃い、一時、相互推薦を巡ってギクシャクした公明党との選挙協力も何とか維持した。

対して野党側は準備が遅れている。参院選で過去2回、一定の成果を挙げた共闘態勢づくりが足踏みしているからだ。今後も調整を続けるだろうが、時間的な制約もある。与党優勢の構図の中、野党はどこまで巻き返すことができるか。そこが焦点だ。

(文中敬称略、5月3日現在)



続きは『**月刊クオリティ**』本誌を  
ご覧ください。

▼ ご購読のお申し込みは ▼

○インターネットでのお申し込みはこちらから  
<https://qualitynet.co.jp/koudoku/>

○お電話でのお申し込みはこちらから

**TEL 011-644-0101**

(9:00 ~ 17:30 土日・祝日をのぞく)